

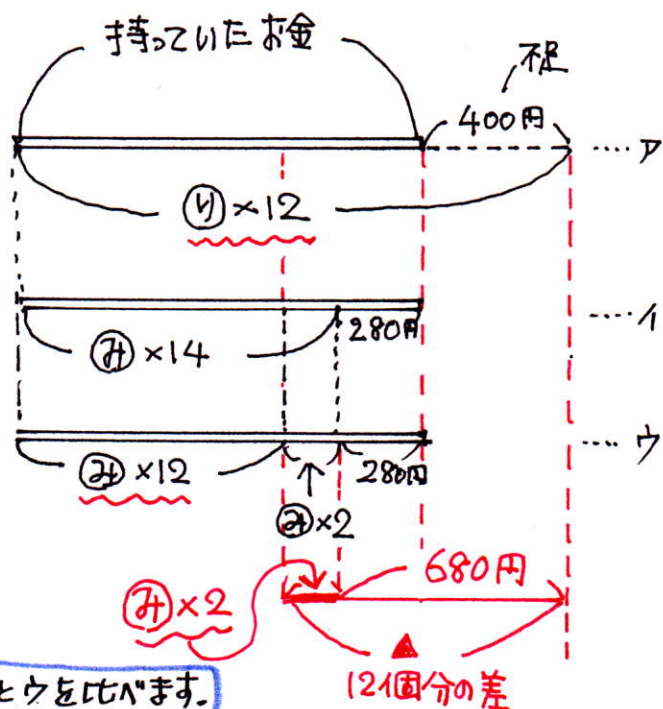
Aさんはくだもの買いに行きました。りんごを12個買うと400円不足し、りんごより70円安いみかんを買うと、14個買ったとき280円あまります。Aさんは何円持っていましたか。

(差集め算のポイント)

個数をそろえて、持っていたお金を基準に線分図を書きます。



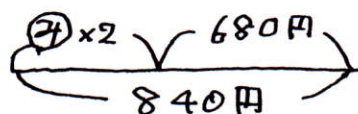
全1本の差を調べ、それが1個の差のいくつ分になるかを考えます。



● アとウを比べます。

1個の値段の差が70円より

12個の値段の差は $70 \times 12 = 840$ (円)



$$② \times 2 = 840 - 680$$

$$② = (840 - 680) \div 2 = 80 \text{ (円)}$$

より持っていたお金は

$$80 \times 14 + 280 = 1400 \text{ (円)}$$

(別解)

安い方の みかん1個の値段を①円とすると、

りんご1個の値段は① + 70円

・ りんごを12個買ったときの代金は

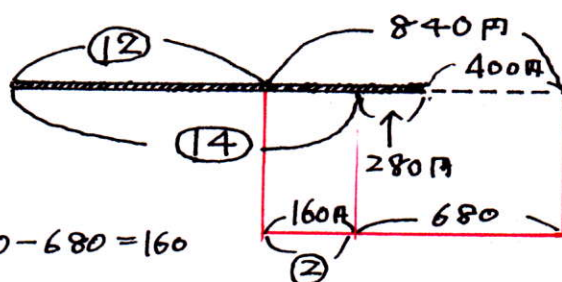
$$(\textcircled{1} + 70) \times 12 = \textcircled{12} + 840 \text{ 円}$$

↑
このとき400円不足

・ みかんを14個買ったときの代金は

①④円です。

↑
このとき280円あまる。



上の図より ②が160円にあたるので

①は80円

持っていたお金は ①④ + 280円より

$$80 \times 14 + 280 = 1400 \text{ (円)}$$

1400円